

## 麻生区区民会議 第7回 若者が住みたくなる魅力あるまちづくり部会 議事要旨

- 1 開催日時：平成25年4月8日（月）午後5時00分～午後6時30分
- 2 開催場所：麻生区役所第4会議室
- 3 出席者：[若者が住みたくなる魅力あるまちづくり部会委員]  
石井委員、菅野委員、菅原委員、高橋委員、武濤委員、東川委員、矢野委員、  
山田委員  
（欠席）飯塚委員、金光委員  
[事務局]  
鈴木企画課長、白石担当係長、藤江、桑原
- 4 傍聴者 1名
- 5 議 事
  - (1) 調査審議課題等について
    - ①「芸術・文化のまちづくり」課題解決に向けた取組みについて  
部会長より「芸術・文化のまちづくり」の検討テーマの進め方について説明、スケジュールに関しては武濤委員より、資料1をもとに報告があった。  
**【説明事項】**
      - ・「芸術・文化関連団体や施設・教育機関」へのヒアリングに関しては、5月の部会迄にワーキングチームで、ヒアリング事項等の詳細を策定し、部会にて報告し、検討・確認する。
      - ・資料記載の11候補（「麻生文化協会」「日本オペラ振興会」等）に対しては、5月の部会以降順次実施するが、4月20日からのアルテリッカ開催中に実施可能なものは、必要に応じて前倒しで実施する。
      - ・これらの団体・施設等へのヒアリング結果を踏まえて次に、「市の芸術・文化行政」の考え方を把握のために、資料記載の5候補（「市民文化室」「アートセンター等」）にヒアリングを7月以降を目安に実施していく。
      - ・「芸術・文化を通じた若者・子供の育成」に関しては、これらの結果を踏まえて、商店で働く若者や大学生等を集めて直接意見交換をし、芸術・文化の取り組みにおいて「若者にとっての魅力」を溶け込ませた形での提言を検討している。
      - ・スケジュールは5月から9月にかけてヒアリングを実施する。若者の意見の取り込みは10月頃を目途に実施し、それ以降2、3月に向けてまとめていく。

- ・ヒアリング依頼先の窓口は、対外的な広報担当や質問事項を受けてくれる方であればよい。

#### 【決定事項】

- ・テーマの進め方案のとおり「芸術・文化団体、施設、行政へのヒアリング、若者の意見聴取の実施、提言検討」を行う。
- ・事務局は、「ヒアリング依頼文」「第3期の提言内容のまとめ」の作成を行うとともに、対象への依頼、日程調整を行う。
- ・具体的なヒアリング項目や依頼文の確認については、ワーキングチームのメンバーで再度詳細検討し、原案を作成し次回の部会で報告する。

## ②「子育てしやすい環境づくり」課題解決に向けた取組みについて

- 1) 山田委員、菅野委員より、「子育てしやすい環境づくり」の検討テーマにおけるヒアリング実施企画について資料2をもとに説明報告があった。

#### 【説明事項】

- ・未就学児の子育て世代が持つ悩み・困っている事を把握することを目的にヒアリングを実施する。今回は、保育園や幼稚園に入れて通っている人たちよりも、その前の段階（幼稚園にいくまで、保育園に入れないので、自主的に育てているなど）の人たちが参加している自主グループのスタッフや利用者の生の声を聞き、待機児の実態や親の悩みの把握を深め、区民会議で解決策を提案する方針とする。
- ・「保育園」については、待機児童の解消や地域保育の展開など、国や自治体など行政による取り組みが既にあるため、それ以外の部分で「母親が苦労していること」という視点でアプローチする。
- ・ヒアリング先については、「地域子育て支援センター」「子育て自主グループ」「子育てサロン」「ボランティアグループ」「保育園・支援センター・市民館主催のあそびの会」について、各1～2か所を検討している。
- ・スタッフと利用者（子育て世代の親）の双方に対してヒアリングを行う。

#### 【主な意見】

- ・ヒアリング候補、対象、事項等の企画内容については概ねよい。現場の生の声を聞くことで、課題と区民会議が行うべき提言が見えてくるのではない。
- ・本部会では、保育活動を「自分達でやっていこう」という前向きな自主グループ、ボランティアグループ等を支援していく方向が良い。
- ・行政的、全国的なことよりも、身の回りのところで母親たちが期待していることを把握し支援したい。
- ・「保育園に入りたくて入れなかった人」や「保育園には入れたくない人」などさまざまな人の声を聞けると良い。
- ・ヒアリング項目として、「施設や活動について知った経緯や情報源」について聞いてみるのもよいのでは。

#### 【決定事項】

- ・実施企画案のとおり「保育所外での実態・要望把握」を基本としたヒアリングの実

施、提言検討を行う。

- ・具体的なヒアリング項目や依頼文の確認については、ワーキングチームのメンバーで再度詳細検討し、原案を作成し次回の部会で報告する。

2) コンサルタントより、参考資料をもとに「保育・子育て事例紹介」「麻生区の主な保育活動状況」「子ども・子育て支援新制度（パンフレット）」について説明があった。

#### 【説明事項】

- ・「保育・子育て事例紹介」
  - ア 中高年の保育参加（「保育園士再雇用事業」（新潟県上越市）、「おじいちゃん保育事業」（栃木県那須塩原市））
  - イ 空き店舗を活用したコミュニティカフェ（地域の子育て拠点）（「コミュニティカフェ『ぶりっじ』」（NPO法人せたがや子育てネット）、「コミュニティカフェ『はびくす』」（板橋区・中板橋商店街））
- ・麻生区の主な保育活動状況：麻生区における主な保育活動を「運営形態（公/民）」「保育時間（継続/単発・長/短）」という軸で整理
- ・「子ども・子育て支援新制度（パンフレット）」：平成27年度より創設される新制度について説明した「内閣府子ども・子育て支援新制度施行準備室」発行パンフレットの紹介

#### 【主な意見】

（中高年・男性の保育参加）

- ・退職者など、高齢男性の保育参加は可能性としてあるのでは。60歳～65歳くらいが妥当か。50歳代は勤務していて難しい。
- ・保育における男性の活用は大きい。保育園でも若い男性がいると（対応できる幅が広がり）違う。

（空き店舗活用）

- ・空き店舗活用のコミュニティビジネスは難しく、閉店しているところも多いと聞く。そもそも子育てには空き店舗のような空間は適していないのではないか。
- ・空き店舗の活用は、立地条件が重要である。
- ・川崎市にも自宅を開放したカフェがあると聞いている。

（提言について）

- ・何か具体的なモデルを提案すると良いのではないか。

#### （3）その他

- ・子育てワーキングチーム：平成25年4月15日（月）13時～
- ・芸術・文化ワーキングチーム：平成25年4月15日（月）17時～
- ・次回部会：平成25年5月13日（月）18時～

以上